

感染症患者発生情報（週報）※急性呼吸器感染症追補

埼玉県内情報 2025年 第15週（4月7日～4月13日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	7人	類型	患者 4人、 無症状病原体保有者 3人
		血清型	O157 1人、O26 1人、 O55 1人、不明 4人
四類感染症 E型肝炎	1人	推定感染地域	不明
レジオネラ症	1人	病型	肺炎型
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人	菌種	<i>Klebsiella</i> sp.
急性脳炎	1人	病原体	ノロウイルス
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3人	血清群	A群 1人、B群 2人
後天性免疫不全症候群	1人	病型	AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	2人		
梅毒	8人	病型	早期顕症Ⅰ期 5人、 早期顕症Ⅱ期 2人、 無症状病原体保有者 1人
百日咳	28人	年齢階級	8歳 2人、9歳 1人、 10歳代 15人、20歳代 2人、 40歳代 6人、60歳代 1人、 70歳代 1人

百日咳の報告数が2024年8月下旬以降、10歳代を中心に増加してきています。

2025年に入ってから、週単位で報告数の多い状況が続いており、新生児等への感染に注意が必要です。

〈定点把握疾患の患者情報〉

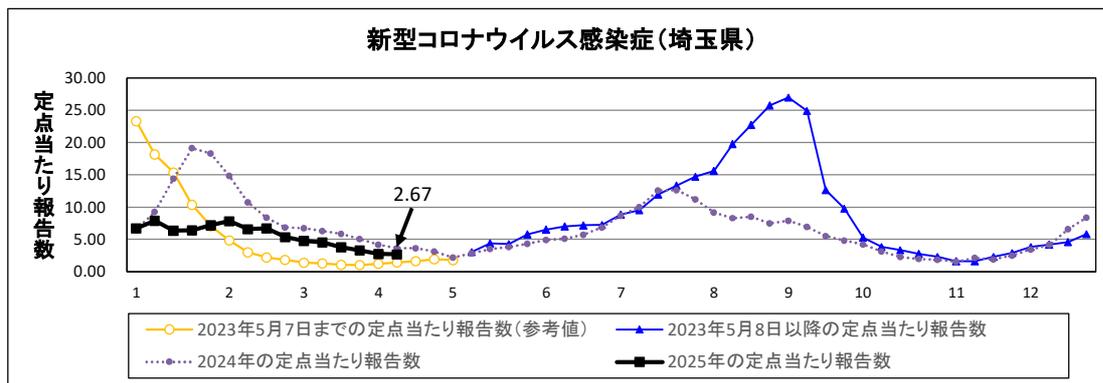
新型コロナウイルス感染症 (2.74*→2.67: 図1) の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。基幹定点における**入院患者**の報告は21人(前週23*人)であり、年齢階級別では、70歳以上が約76%であった。**伝染性紅斑** (0.80→1.82: 図2) の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、全ての保健所管内で前週の値を上回っており、特に、東松山(1.33→4.33)、鴻巣(1.29→4.00)、坂戸(0.67→3.33)保健所管内で大きく増加した。**水痘** (0.42→0.95: 図3) の定点当たり報告数は前週と比較して増加した。保健所別では、朝霞(0.70→2.40)、熊谷(0.40→1.80)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、9歳の報告が特に多く、7～9歳が全体の約61%であった。**感染性胃腸炎** (6.86→7.79: 図4) の定点当たり報告数は、第12週以降減少傾向にあったものの、前週と比較して同水準であった。保健所別では、坂戸(12.00→19.67)、東松山(13.33→19.00)、川越市(4.60→9.40)保健所管内で大きく増加した。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 5人、**流行性角結膜炎** 22人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**無菌性髄膜炎** 1人、**マイコプラズマ肺炎** 4人、**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)** 1人、**インフルエンザ(入院)** 3人の報告があった。なお、第15週から報告開始となった**急性呼吸器感染症**の定点当たり報告数は62.88であった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト(URL: <https://id-info.jhs.go.jp/>)で御覧になれます。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第15週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

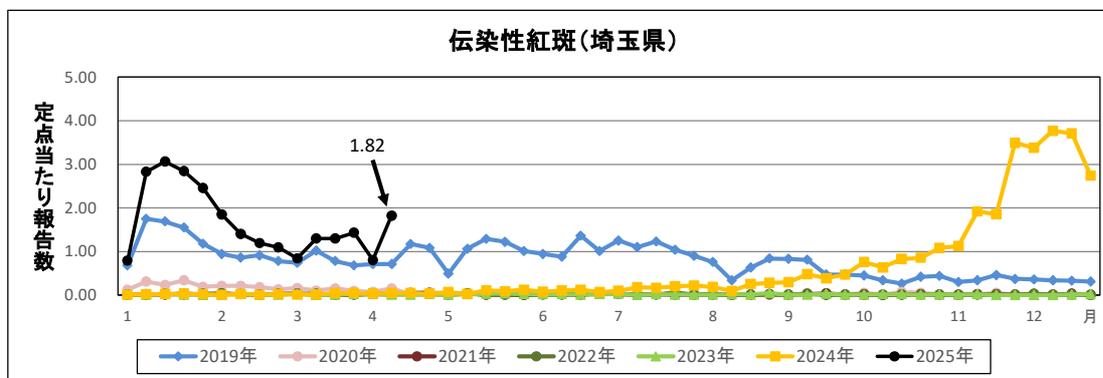


図3 水痘の定点当たり報告数の推移

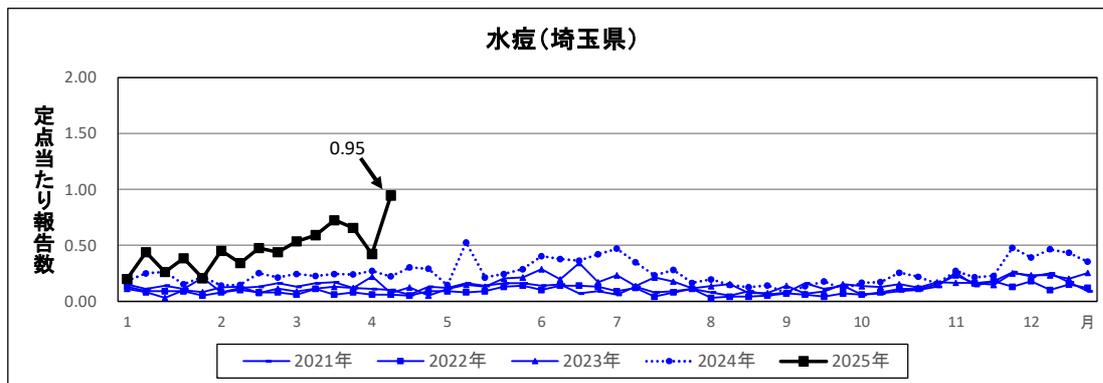
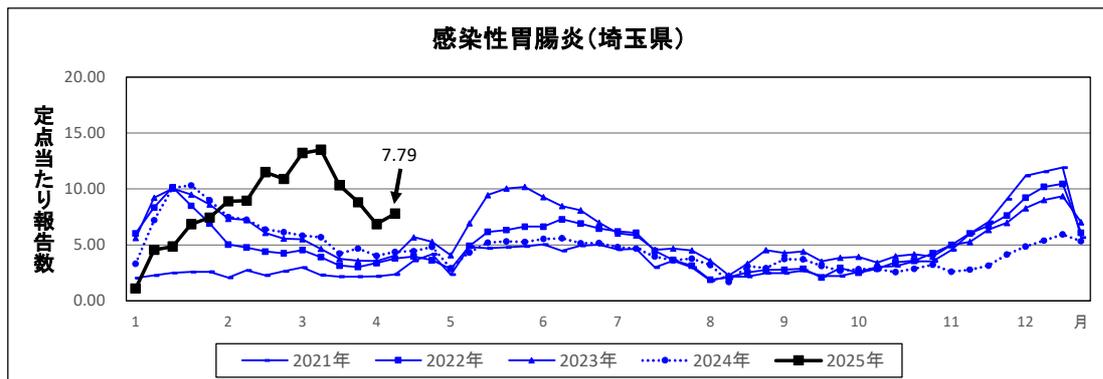


図4 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第15週)

(2025年4月15日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	7	19			
四類感染症					
E型肝炎	1	7	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	22
つつが虫病		1	レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		3	侵襲性肺炎球菌感染症	2	62
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	32	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	8	124
急性脳炎	1	12	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	21	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2
後天性免疫不全症候群	1	14	百日咳	28	234
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		8	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第15週

4月7日~4月13日)

保健所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症	症
全 県	報告数 247 定点当たり 1.41	468 2.67	9,747 62.88	73 0.66	40 0.36	305 2.75	865 7.79	105 0.95	7 0.06	202 1.82	37 0.33	2 0.02	7 0.06	5 0.12	22 0.51	-	1 0.08	4 0.33	-	1 0.08	3 0.25	21 1.75	
朝 霞	報告数 43 定点当たり 2.69	91 5.69	687 62.45	7 0.70	-	32 3.20	69 6.90	24 2.40	1 0.10	10 1.00	4 0.40	-	-	-	3 0.60	-	-	-	-	-	-	-	4 4.00
鴻 巣	報告数 23 定点当たり 1.92	59 4.92	1,184 107.64	7 1.00	5 0.71	26 3.71	39 5.57	3 0.43	-	28 4.00	2 0.29	-	-	-	1 0.33	6 2.00	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 3 定点当たり 0.75	7 1.75	68 22.67	-	1 0.33	5 1.67	57 19.00	-	-	13 4.33	-	-	-	-	1 1.00	-	-	-	-	-	-	-	2 2.00
秩 父	報告数 1 定点当たり 0.25	7 1.75	68 17.00	-	-	6 2.00	-	-	-	1 0.33	-	-	-	-	* *	* *	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 3 定点当たり 0.75	9 2.25	121 30.25	-	5 1.67	1 0.33	3 1.00	1 0.33	-	9 3.00	-	-	-	1 0.33	-	-	-	-	-	-	-	2 2.00	3 3.00
熊 谷	報告数 7 定点当たり 0.78	19 2.11	579 64.33	2 0.40	3 0.60	6 1.20	43 8.60	9 1.80	-	23 4.60	3 0.60	-	-	-	2 1.00	-	-	-	-	-	-	-	2 2.00
加 須	報告数 1 定点当たり 0.20	9 1.80	25 8.33	1 0.33	-	-	1 0.33	-	-	4 1.33	-	-	-	1 0.33	-	3 3.00	-	-	-	-	-	-	1 1.00
春 日 部	報告数 12 定点当たり 2.40	7 1.40	71 17.75	5 1.67	2 0.67	16 5.33	35 11.67	1 0.33	1 0.33	12 4.00	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 16 定点当たり 1.78	67 7.44	850 106.25	5 1.00	5 1.00	19 3.80	34 6.80	2 0.40	-	11 2.20	2 0.40	-	1 0.20	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 14 定点当たり 3.50	10 2.50	296 74.00	1 0.33	-	3 1.00	59 19.67	-	-	10 3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1.00
草 加	報告数 16 定点当たり 1.45	32 2.91	552 61.33	1 0.14	1 0.14	6 0.86	54 7.71	4 0.57	1 0.14	7 1.00	2 0.29	-	1 0.14	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 24 定点当たり 1.85	36 2.77	548 68.50	8 0.80	1 0.10	47 4.70	61 6.10	4 0.40	-	18 1.80	6 0.60	1 0.10	-	-	3 0.60	5 1.00	-	-	1 1.00	-	-	-	2 2.00
南 部	報告数 6 定点当たり 1.20	6 1.20	200 50.00	11 3.67	1 0.33	29 9.67	29 9.67	3 1.00	1 0.33	6 2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 越 市	報告数 7 定点当たり 0.78	18 2.00	616 68.44	1 0.20	4 0.80	16 3.20	47 9.40	9 1.80	1 0.20	12 2.40	7 1.40	-	2 0.40	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 9 定点当たり 1.13	20 2.50	560 70.00	-	-	7 1.40	43 8.60	6 1.20	-	12 2.40	2 0.40	-	-	-	-	-	-	1 1.00	1 1.00	-	1 1.00	1 1.00	
川 口 市	報告数 18 定点当たり 1.29	25 1.79	848 60.57	7 0.88	-	13 1.63	60 7.50	2 0.25	-	7 0.88	2 0.25	1 0.13	-	-	-	-	-	-	1 1.00	-	-	2 2.00	
さいたま市	報告数 44 定点当たり 1.02	46 1.07	2,474 58.90	17 0.61	12 0.43	73 2.61	231 8.25	37 1.32	2 0.07	19 0.68	7 0.25	-	1 0.04	1 0.11	2 0.22	-	-	1 1.00	-	-	-	-	4 4.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

4月 17日 9:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数		年齢別																		
	合計	-6カ月 -12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	247	2	1	6	11	14	8	15	13	17	6	8	43	38	18	18	12	7	8	2	-
新型コロナウイルス感染症	468	7	10	17	10	8	6	7	3	-	5	1	24	21	31	48	61	72	56	38	43
急性呼吸器感染症	9,747	866	4,003	1,558	729	247	372	495	386	351	273	235	232								
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~								
RSウイルス感染症	73	13	11	29	14	2	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	40	-	2	13	9	3	3	3	2	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	305	-	3	11	16	28	42	36	33	26	30	20	37	4	19						
感染性胃腸炎	865	7	45	90	87	90	84	83	64	60	44	37	100	12	62						
水痘	105	-	2	-	3	3	3	4	6	17	14	33	17	2	1						
手足口病	7	-	-	2	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	202	1	1	7	10	21	33	45	22	21	21	10	10	-	-						
突発性発しん	37	-	6	19	5	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	7	-	-	1	2	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-						
急性出血性結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	1	
流行性角結膜炎	22	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	2	5	2	5	4	-	
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	4	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
新型コロナウイルス感染症(入院)	21	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	16				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第13週 (3月24日～3月30日)

令和7年4月16日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は長野県(4.00)、富山県(3.92)、沖縄県(3.84)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は125例と前週と比較して増加した。都道府県別では40都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(3例)、1～9歳(18例)、10代(11例)、20代(3例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(7例)、60代(13例)、70代(12例)、80歳以上(54例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(4.85)、長野県(4.78)、山梨県(4.63)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,336例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(33例)、1～9歳(31例)、10代(13例)、20代(9例)、30代(22例)、40代(34例)、50代(70例)、60代(126例)、70代(333例)、80歳以上(665例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.67)、鹿児島県(2.36)、大分県(2.31)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.64)、鳥取県(0.63)、三重県(0.56)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(4.62)、茨城県(4.52)、北海道(3.79)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(16.80)、大分県(16.25)、宮崎県(15.56)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.24)、栃木県(0.19)、奈良県(0.18)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は栃木県(2.33)、福島県(1.90)、富山県(1.72)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は茨城県(0.11)、千葉県(0.09)、青森県(0.08)である。

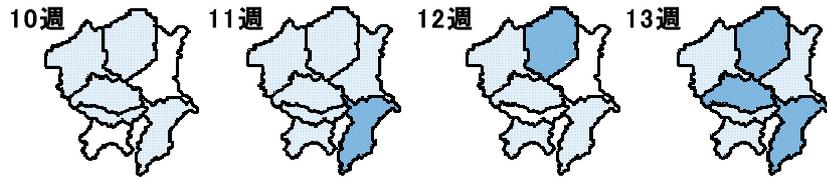
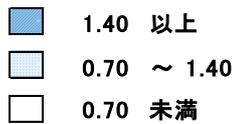
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(2.17)、富山県(1.20)、福井県(1.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。32都道府県から111例報告があり、年齢群別では0歳(6例)、1～4歳(30例)、5～9歳(62例)、10代(13例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第13週(3月24日～3月30日):通巻第27巻 第13号より

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、栃木県(2.33)、埼玉県(1.43)、千葉県(1.43)からの報告が多い。

伝染性紅斑



		2025年 13週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	9,093	2,904	157	235	206	476	407	798	625
	定点当たり	1.85	1.91	1.31	3.09	2.45	1.83	2.01	1.91	1.74
新型コロナウイルス感染症	報告数	14,354	4,554	582	324	359	860	774	805	850
	定点当たり	2.92	3.00	4.85	4.26	4.27	3.31	3.83	1.93	2.37
RSウイルス感染症	報告数	3,177	529	31	41	25	119	74	125	114
	定点当たり	1.02	0.55	0.41	0.85	0.48	0.73	0.59	0.48	0.50
咽頭結膜熱	報告数	721	131	22	7	13	31	11	25	22
	定点当たり	0.23	0.14	0.29	0.15	0.25	0.19	0.09	0.10	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,885	2,128	339	109	61	399	323	589	308
	定点当たり	1.89	2.23	4.52	2.27	1.17	2.45	2.56	2.24	1.36
感染性胃腸炎	報告数	24,790	7,528	544	304	434	1,438	1,114	2,070	1,624
	定点当たり	7.95	7.89	7.25	6.33	8.35	8.82	8.84	7.87	7.15
水痘	報告数	926	437	18	12	21	107	32	152	95
	定点当たり	0.30	0.46	0.24	0.25	0.40	0.66	0.25	0.58	0.42
手足口病	報告数	148	49	3	9	-	13	2	14	8
	定点当たり	0.05	0.05	0.04	0.19	-	0.08	0.02	0.05	0.04
伝染性紅斑	報告数	2,565	1,068	63	112	68	233	180	214	198
	定点当たり	0.82	1.12	0.84	2.33	1.31	1.43	1.43	0.81	0.87
突発性発しん	報告数	656	209	14	11	14	38	22	56	54
	定点当たり	0.21	0.22	0.19	0.23	0.27	0.23	0.17	0.21	0.24
ヘルパンギーナ	報告数	26	8	-	-	1	2	1	2	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	115	61	8	1	2	8	11	19	12
	定点当たり	0.04	0.06	0.11	0.02	0.04	0.05	0.09	0.07	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	40	23	-	-	-	18	-	1	4
	定点当たり	0.06	0.11	-	-	-	0.43	-	0.03	0.08
流行性角結膜炎	報告数	558	207	58	11	12	24	27	18	57
	定点当たり	0.80	0.98	3.41	0.92	0.86	0.57	0.77	0.46	1.10
細菌性髄膜炎 #2	報告数	14	7	-	-	-	-	3	2	2
	定点当たり	0.03	0.08	-	-	-	-	0.33	0.08	0.18
無菌性髄膜炎	報告数	12	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	136	25	1	1	4	8	4	5	2
	定点当たり	0.28	0.29	0.08	0.14	0.44	0.67	0.44	0.20	0.18
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	111	24	2	-	4	4	1	12	1
	定点当たり	0.23	0.28	0.15	-	0.44	0.33	0.11	0.48	0.09

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

3月に採取された麻しんの検体は53検体(18症例)で、麻しんウイルス(ワクチン株を除く)が14件(5症例)検出されました。

細菌検出状況

三類感染症 2025年3月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(3月分)
		1月	2月	3月	
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌(<i>Escherichia coli</i>)合計	3	5	1	O115:H10(VT1):1
	O157:H7	1	2		
	O26:H-		1		
	O145:H-	1			
	腸管出血性大腸菌その他	1	2	1	

四類感染症 2025年3月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(3月分)
		1月	2月	3月	
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	1		1	
	<i>Legionella</i> spp. (LAMP陽性)	1		1	

五類感染症(全数把握) 2025年3月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(3月分)
		1月	2月	3月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	3	5	1	
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	1	2	
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	5	4	1	
	<i>Serratia marcescens</i>		1		
	その他CRE	1	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus pyogenes</i> (血清群A群)	3		1	
	<i>Streptococcus agalactiae</i> (血清群B群)	2	2	1	
	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	2	1		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	<i>Haemophilus influenzae</i>		1	1	
侵襲性髄膜炎菌感染症	<i>Neisseria meningitidis</i>	1			
播種性クリプトコックス症	<i>Cryptococcus</i> 属真菌	1			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)		2(1)		

()内は海外感染例再掲

ノロウイルス検出状況

感染症発生動向調査における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、2024年までは11～3月の冬場に最も多く、次いで5～7月に多い状況でした。2025年は例年と推移が異なり、1月に比べて2～3月にかけて報告数が多く、4月に入ってから報告数が異例に多い状況が続いています（図1）。

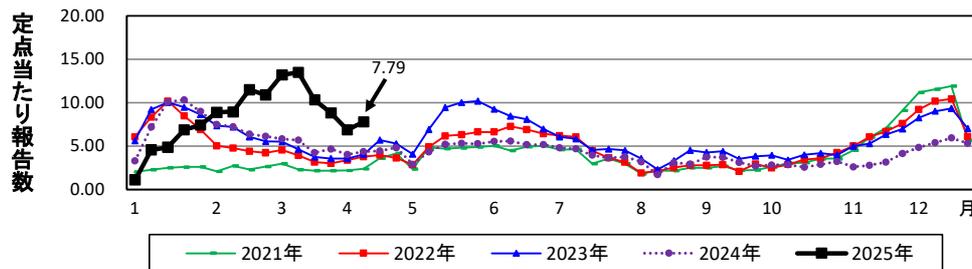


図1 感染症発生動向調査における感染性胃腸炎の流行状況

埼玉県衛生研究所に搬入された感染性胃腸炎検体の病原体検出状況を見ると、2025年1～3月に採取された10検体のうち、6検体からノロウイルスGⅡ、3検体からアストロウイルス、1検体からアデノウイルスが検出されました。ノロウイルスGⅡが検出された6検体の遺伝子型の内訳はGⅡ.4が3件、GⅡ.3が1件、GⅡ.17が1件でした（1件は解析中）（4月10日現在）。

また、2020年9月～2025年3月に食中毒が疑われ埼玉県衛生研究所の検査でノロウイルス（GⅡ）が検出され、遺伝子型が決定できた事例について、遺伝子型別の推移を図2に示しました。2024年1月以降、ノロウイルスGⅡが検出される事例が増え、2025年はさらに多く、時期も2月以降と遅くなっていました。2024年は1～3月にかけてGⅡ.4（濃緑色）の検出が最も多い状況でしたが、2025年はGⅡ.17（ピンク色）が大半を占めていました。

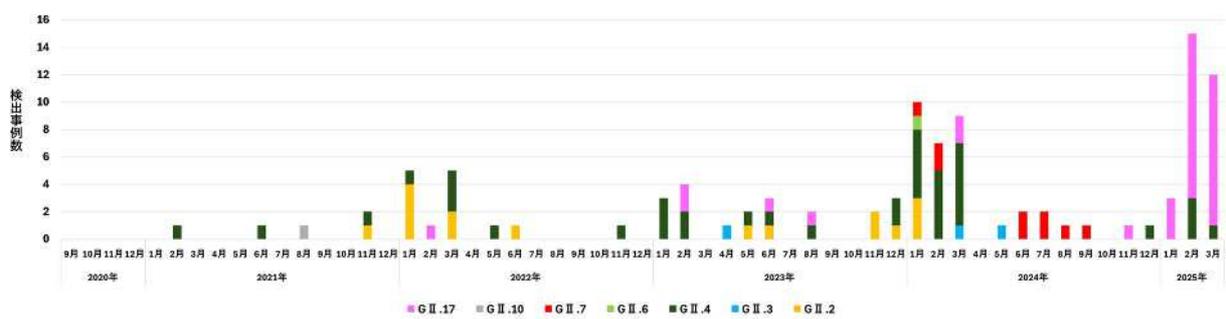


図2 食中毒調査におけるノロウイルスGⅡの遺伝子型別の推移（事例数）

ノロウイルスは多くの遺伝子型が存在し、過去にノロウイルスに罹患した人でも再びノロウイルスによって感染性胃腸炎を発症することがあります。また、感染しても症状がなく、知らないうちに周りに感染を広げてしまう場合もあります。予防には、手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要です。

小児科病原体定点医療機関の先生方には引き続き検体採取へのご協力をお願いします。

参考：食中毒について <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/foodbone.html>

ノロウイルスによる食中毒 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/winterfbd.html>

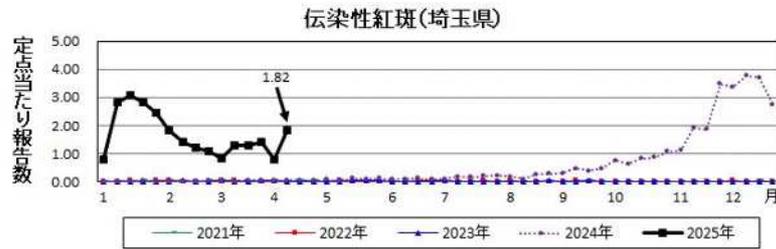
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第14週](#)

感染症の流行状況 2025年 第15週

2025年第15週（4月7日～4月13日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は1.82で、前週と比較して大きく増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	↑	★★★★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	急性出血性結膜炎	↓	★★
水痘（みずぼうそう）	↑	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。

